

## 第4回日田市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会

■日 時 : 平成27年12月22日(火) 14:30~15:50

■場 所 : 日田市役所 庁議室

■出席委員 : 15名中15名出席

飯田委員 日隈委員 石橋委員 高山委員 河津委員 井上委員 永松委員 諫山委員  
篠藤委員 岩里委員 伊藤委員 藤吉委員 笹山委員 海老原委員 大塚委員

### ■次第

#### 1. 開会

#### 2. 審議

##### (1) 日田市総合戦略について

- ・日田市まち・ひと・しごと創生 総合戦略(案)について
- ・日田市まち・ひと・しごと創生 アクションプラン(案)について

#### 3. 閉会

発言者	主 旨
事務局	<p>ただ今より「第4回日田市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会」を開催いたします。始めに会長より挨拶を頂きたいと思ひます。</p>
会長	<p>皆様こんにちは。本日は前回同様、関係部署の方にご出席を頂いております。前回の会議で皆様から頂いた意見、また、その後事務局に提出された意見を、事務局が整理し、今回資料であります総合戦略案に反映しています。資料作成にあたり、時間が必要であったことから、資料の事前配布ではなく、今回はこの場でお配りしてご説明させていただきたいと思ひます。本日も忌憚のないご意見を願ひします。</p> <p>それでは、事務局の方から会議の成立についてご報告を願ひいたします。</p>
事務局	<p>委員15名中、1名の委員の方が遅れるご連絡いただいております。只今14名出席ですので、会議が成立することをご報告いたします。</p>
会長	<p>それでは審議に入りたいと思ひます。</p> <p>資料に基づき、変更した部分などの説明を事務局の方から願ひします。</p>
事務局	<p>～ 資料の説明 ～</p>
会長	<p>ありがとうございました。先ほどありましたように、この委員会で出たこと、その後の意見等について、変更点も丁寧に明示していただきました。</p> <p>それでは各委員の方々からご意見、ご質問等を願ひします。</p>
委員	<p>「審議会等での意見について」5ページ、14番ですが、今日の新聞で、政府が子どもの貧困対策に力を入れるとあります。一人親、とりわけシングルマザーの方の貧困が非常に深刻であるという話がありました。そのような方々を含めた、本当に支援してほしい方々に制度が届いていない、知られていないのではないのでしょうか。</p> <p>この様な方々に制度、情報が届くように仕組みを変えていかなければいけない。日田市では、母子手帳を交付時に必ず「ひたっこ子育てガイド」という冊子を渡しています。しかし、このような冊子は何ページもありほとんど読まないと聞きます。</p> <p>国は、今後の取り組みの中で、経済的支援だけではなくて、相談等による支援として具体的に支援の方向を示しています。例えば携帯電話を活用して、メールで情報をやりとりし、妊娠から子育てまでに対する支援、包括支援センターなどです。</p> <p>国が取り組もうとしている事ですが、この様なシステム作りは必要です。国が取り組む前に日田市版総合戦略、アクションプランに入れていただきたいと思ひます。</p>
事務局	<p>今日の新聞で「子どもの貧困対策」ということで、保育料の無料化を拡大するとか、ひとり親家庭の支援策が大きくクローズアップされておりました。</p>

	<p>国の子育て支援の会議は昨日開催されたという情報がありますが、まだ会議の内容はインターネット等でも確認（12/22 12時時点）出来ませんでした。今後も情報収集に努め、必要があれば総合戦略を見直したいと思います。</p> <p>先ほど委員からお話がありました情報の伝達手段ですが、28年度より新たに携帯電話等を活用した情報伝達の方法について、現在検討を進めております。</p>
会長	<p>人口減少に歯止めをかけるという意味では大きなポイントになります。これは総合戦略に盛り込むべきとのご意見と、現在国も検討している段階であることから、その情報を確認しながら盛り込むべきとの考えもあるかと思えます。国の情報のタイミングにもよりますが、答申する前であれば盛り込む。あるいはその状況を見て、今後検討していくとの対応はいかがでしょうか。子育ての問題は人口を増やすためには重要であるとの認識は皆さん共有していると思えます。</p>
委員	<p>国の政策と、我々の施策とのズレはあります。</p> <p>例として、企業が企業内に託児所を整備しています。これについては3年間だけ国から支援があります。働く母親を支援するものです。</p> <p>法律により、保育士の配置については、預かる子供の年齢や人数で変わり、企業は企業の考えで人材を確保することとの考えで、この部分についての支援はありません。</p> <p>働く母親の支援については、企業も精いっぱい頑張っています。企業支援も働く母親支援も含めて、現実に沿う支援をしなければいけない。</p> <p>国の動向を見てではなく、本当に困っている人の事を知ることが大切です。</p>
委員	<p>先ほど、情報が上手く伝わらないという意見がありました。以前日田市議会で日田市のFacebookを作る請願が採択され現在運用されています。このようなSNSを活用して情報を発信するともいいと思います。</p> <p>シングルマザーの方はいつも忙しく仕事をしていますので、文書などを見る余裕もないかもしれませんが、SNSなどであれば伝わっていくのかもしれませんが。</p> <p>しかし、それで全てが解決するわけではありません。日田市Facebookを管理する課だけではなく、他の課も積極的に活用してもらいたい。</p>
事務局	<p>情報の発信、共有についてはこれまでに皆様方から指摘いただいております。来年度の事業を計画するにあたり市長からも指示をいただいております。</p> <p>タイムリーな情報がそれぞれの方に届く仕組みを作るように指示をいただいておりますので、現在関係各課、検討を始めたところです。</p>
会長	<p>情報伝達を含めた支援については、総合戦略を策定するに当たり重要です。</p> <p>先ほどからの施策については、国の施策も重要ですが、日田市の実情にあった取り組みが必要であるとのことから、この審議会でも積極的にチェックをしていき、意見を反映していくということでもよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>国は子育て支援、介護職の確保なども含めて、来年度の施策を公表しています。大分県についても、県独自で取り組む施策や、市町村と連携する取り組みなどを</p>

	<p>検討している段階です。</p> <p>私どもとしては、国がまず主体性を持って取り組む分野がどの辺なのか、また県が取り組む分野はどの辺りなのか、などの情報収集に努め、国、県で補えない部分に市が施策事業を組み立てるなどを検討していきたいと考えます。</p>
会長	<p>今、提案されている事業の中身までは確認いたしません、3人の委員の意見は、日田として重要であるという位置づけで戦略のどこかに盛り込んでもらい、具体的な事業を立案するにあたっては、この意見を加味しなければいけないでしょう。この事については、事務局で情報を適宜把握しながら対応していただきたいと思います。</p>
委員	<p>アクションプランにある、新規・拡充・継続について、継続となっているものは、事業の見直しを含めた継続ということで考えればいいのでしょうか。</p>
事務局	<p>継続と記載している事業につきましては、毎年チェック、見直しを行い、翌年も取り組むとの考えです。</p>
委員	<p>先ほどの情報発信についてですが、総合戦略案の31ページ「Ⅱ 安心して子どもを産み育てられる環境の充実」の基本的方向性に、「子育てに対する様々な支援策を周知するため、情報発信を積極的に行います」とあります。</p> <p>これまでの情報発信では、子育て世代にきちんと届いていないと話を聞きますので、この部分に具体的なものを少し加え、これまでの情報発信ではない、本当に支援を必要としている人に届くような情報発信を積極的に行います。などを盛り込んだらどうでしょうか。これまでにない新たな双方向の発信など内容を再度検討していただければと思います。</p> <p>また、保護者の方と意見交換した中では、やはり人と人との繋がり、直接働きかけるということが必要だと思えます。いくら情報発信をしても、やはり届かない人には届きません。それは人と人の繋がり、コミュニティの繋がりであり、それが保健師や民生委員、地域の方々だと思えます。直接人が伝えられる新たな制度、仕組みなどもこの文章に盛り込む事を検討していただければと思います。</p>
事務局	<p>基本的方向性の内容は、委員からご紹介のあった通りでございます。具体的な施策の中で、3項目「子育てに対する支援の充実」という施策にあります。具体的には「携帯電話等の活用など、多様なニーズに対応した子育てサービスの提供」として考えています。</p> <p>現在検討している内容は、システムにメールアドレスを登録し、登録した方に沿う情報をお知らせする事を考えています。例えばその子どもさんの予防接種の時期がきたらお知らせしたり、乳幼児健診の時期をお知らせしたり、救急病院や夜間の当番医等の情報も登録頂いたアドレスに情報の提供をするものです。</p> <p>最終的には、どの情報をどのような手法で発信するかについてはまだ決定しておりませんので、検討を進めたいと思います。</p>
委員	<p>情報発信とすると一方的な事として考えられる。自分の子どもの事や、自身が出産を間近に控えて不安な事などを相談できるシステムが欲しいと意見を伺っ</p>

	<p>た事がある。</p> <p>情報発信で考えると、携帯電話やFacebookなどを活用した取り組みと、人が人に伝える取り組みがあると思う。この両方を備えた取り組みが今必要なのではないかという事です。現状では、行政から出される情報は、一方的な情報の伝達手段しかないような気がします。</p>
委員	<p>今のお話を聞いていて思うのですが、私の立場からかもしれませんが、従来から行政が取り組んでいるサービスを全ての市民の方に伝わるように周知するというのは非常に難しい事です。委員のご意見のとおり、市報の配布や、そのほか様々な手段で発信していますが、届いていないのが現状です。子育てに限らずあらゆる面で抱えている大きな課題です。</p> <p>このような中で、困っている人を助けるということからすると、我々が目指しているのは、基本目標4にあります「安心・安全で快適に市民の皆様が暮らしていただけた地域を創る」と思っています。</p> <p>地域を創るというのは行政だけが取り組むものではなく、地域住民の皆さんと力を合わせて、住民の皆さんの発動によって地域が創られるということです。そこを行政は創っていきたいと考え今回の総合戦略に盛り込んでいます。</p> <p>双方向というもの、Face to Faceというものは、職員と困っている方ではなくて、住民同士で困っている方に「市役所でこんなこと取り組んでいるから相談してみたら」とか、住民が困っている人に伝えられる仕組みも重要だと思います。社会の中で困っている人に、安心して暮らしていただくためには何より大事だと思います。</p> <p>先ほどの情報発信のご意見から考えると、新しい仕組みの構築、取り組み方があるかもしれません。</p> <p>今回の総合戦略ではこのような考えもあるとの事に、ぜひご理解をいただきたいと思います。</p>
会長	<p>行政の課題であるとのことでしたが、行政に限らず、どこでもある問題ではないかと思います。情報を受け取る側には、それぞれの事情があり、細かに情報を提供しているけど情報は伝達されていない。協働のまちづくりに取り組む中でも、コミュニケーションをどのように図るのが問題であり、情報発信だけの問題では解決できないと感じます。</p> <p>従ってこの表現については、情報発信という言葉が一方通行的な情報の伝達のような強いイメージがあることから、若干表現を工夫するとの事でどうでしょうか。</p>
委員	<p>「市役所でこういうことをやっているから相談に行ったら」と言っても、働いている母親は5時まで仕事をしていたら、市役所に行っても説明をできる方がいない。5時以降も相談ができる、いつでも困ったときに相談ができる体制が必要です。</p>
事務局	<p>基本的には相談は当然相対です。相手の方と話すことによってその方が困って</p>

	<p>いることや、本人が気付かないようなことも判る。</p> <p>例えばになりますが、その相談から得た情報を保健師が見極め、適切な機関に繋げるなど、現在、市役所では取り組んでいますし、相談業務につきましては、時間外の対応も踏まえ、今後も取り組んでいかなければいけないと思います。</p> <p>相談業務以外の情報発信については、二次的なものであり、基本的には顔と顔を合わせた取り組みを充実させていきたいと思います</p>
会長	<p>子育てする環境や、働きながら子どもを育てている方々に対して、情報提供や相談を含めて実りある支援をしなければならない。これは審議会では合意されていることです。</p> <p>そこで、情報発信だけではなくて、総合コミュニケーションに基づいて私と事務局で検討したいと思います。ご理解いただきたい。</p>
委員	<p>今回の総合戦略としては、非常にまとまっていますし、大変ご苦労されていると思います。</p> <p>ただひとつ忘れてはいけないのは、本当に10年後、20年後の姿をみたときに何をポイントにみて取り組むのかを議論すべきではないかと思います。今取り組んでいる事は大切に議論しながら進めるべきです。</p> <p>人口減少問題については、日本全国の市町村が同じような議論をしている所です。日田市としては、人口減少に対して何を柱としてやるのかということをしっかり議論しないといけない。日田市の10年後、20年後、今の子どもたちが大人になった時に明るい都市を残すために何をするのかを議論した方がいいかと思います。</p>
事務局	<p>日田の将来的なビジョン、まちづくりをどう考えていくのか。日田の子どもたちにとって、未来を描けるのか。については、これまでも説明している通り、来年度に策定します総合計画で、これから先の日田のまちづくりのビジョンを明確にしなくてはなりません。</p> <p>従って、総合戦略についても総合計画策定の中で進める方向性に沿う形で柔軟に改定していく考えです。</p>
委員	<p>極端なことを言うと、日田から転出する人を少なくする、転出させないようにする。それと隣の町からでも結構ですし、転入者を増やすことです。ここにポイントを置かないと人口減少を止めるというのはなかなかできない。それでも多少なりとも減ると思います。</p> <p>企業側から考えると、もしそこにポイントがあるとするなら、転入者を増やすために全力投球します。方向性が明確になればですが。</p> <p>地元雇用というのも重要です。但し、市外から来て働いてくれる。市外から働くために来た人が家族と一緒にあれば大きなプラス要素になると思います。このようなことから、方向性をしっかり議論していただければと思います。</p>
委員	<p>今回の総合戦略では財源の問題を入れていません。事業に優先順位を付けて取り組む事は大切です。</p>

	<p>目標に向かってみんなで取り組む中で、国の借金はどうなのかなど財政的な部分も考え、腰を据えて10年、20年先までを見据えた取り組みが必要と思います。</p>
委員	<p>基本目標4(2)「人口減少社会に対応した自治体経営を推進する」についてですが、人口減少をなんとかする、人口密度を増やすなどはどの自治体も考えておりますが、予測よりも減る確率のほうが高い気がします。これを考えますと、「人口減少社会に対応した自治体経営を推進する」というのはかなり重要と思います。基本目標の(2)の「日田を訪ねたくなる人の流れをつくる」取り組みは必要ですが、人口が減少した社会でどのように自治体を維持するかという戦略も一つの考え方ではないでしょうか。</p>
事務局	<p>総合戦略の考え方には、積極戦略と調整戦略があります。積極戦略は人口減少対策を行うもので、調整戦略は、人口が減っていくのは間違いない、その減少の数を少しでもゆるやかにし、その減少社会に対応した新しい自治体経営を創る取り組みです。</p> <p>双方に取り組まなければなりません、総合戦略では、人口減少にどう歯止めをかけるかという事に主眼があります。</p> <p>これまでは右肩上がりの経済でしたが、これから先は厳しくなります。今、地方に人が回帰しているように、ライフスタイルが大きく変わっています。お金を稼げる場所で暮らす考えから、自分のやりたい事がやれる、子育てに良い環境などを第一に考え暮らす場所を決めている時代と思います。これらからの地方にはチャンスがあるのではないかと考えます。</p> <p>日田は非常に地域資源が多くあり、取り組み次第では新しいまちの見せ方ができ、モデル的な市になれるのではと話を頂いたこともあります。</p>
会長	<p>地方創生については、大きく2つの考え方があると思います。1つは雇用の確保の観点から人口減少に歯止めをかけ、増加させる施策。雇用の確保についても様々な考え方があるかと思えます。自らのライフスタイルに合う仕事を作ったり、企業に勤めたりと。</p> <p>もう一つは、人口データを整理し、減少に歯止めをかけるために、対策を講じていく考えだと思えます。</p> <p>以前私が意見したように、明治以降のシステムで創られた東京が転換しない限り、この地方創生に取り組むには論理的にはおかしいのです。</p> <p>今回の総合戦略の冒頭に、日田市の考え方を出すことが必要であると思えます。おそらく県下の総合戦略ではないと思えます。</p> <p>日田市のこれまでの歴史からも、商人が創った学び舎が、日本一の学び舎になったという歴史があります。これからも価値転換された中の取り組みで、日田こそが、まさに新しい世界が出来ると思えます。</p> <p>このような歴史背景を踏まえ、日田市の考え方などを総合戦略の中に文章として盛り込む事を検討したいと思えます。</p>

委員	<p>政府機関が地方への移転という所で、国の政府機関が、半分くらいは地方に移転することが望ましいと記載すると良いのではないかと。</p> <p>また、国の交付金とか補助金などに拠ることなく、やはり日田独自の施策に取り組んでもらいたい。</p>
委員	<p>今議論している内容がこの審議会で意見として出てくる事に一番期待していた部分です。</p> <p>言い方は失礼になりますが、現在作成している総合戦略は、中身にこだわりすぎている。何をもちょう日田市のビジョンとするのか。それを総合戦略に載せていくかというのが一番大事なことです。</p> <p>審議会等での意見についての6ページに、「現在、3.11以降九州への移住者は多くいるが、いち早く移住した者の職業は、企業へ就職している者ではなく、フリーランス等場所を選ばない仕事をする者。全てはこの移住者の「縛られない仕事のかたち」が日田市の人口を増やすひとつのキーワードではないか。」とここまで書かれています。</p> <p>やはりひとつの柱としては魅力ある日田市を、何でつくるかというものが重要です。国が策定した基本目標は大事ですが、その基本目標にこだわりすぎなくていいのではないのでしょうか。</p> <p>今回の総合戦略の基本目標3「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる。」これが人口を増加させるため必要なこと。そのものだと思います。</p> <p>これをいかに推し進めるか。何をアピールするかという事です。先ほど会長も言われましたように、水郷日田、天領日田というのは、以前から日田市独自で使われてきたものです。これをさらに磨きをかけるとか、復活させるとか、どこを柱にし、地域の魅力をアップさせるかによって、人口減少に歯止めをかけていくかではないのでしょうか。</p>
委員	<p>安定した雇用がこの総合戦略では基本目標1として最初に掲げていますが、どれが安定した雇用につながるのかと考えていました。</p> <p>基本的には、経営者の方たちを保護する施策を先に設けて、それが軌道にのったら労働者保護に移るのかなと思いました。</p> <p>この中で労働者保護となる施策はどれになるのか教えて頂きたい。考え方として、安定した雇用の創出についての考えがあるのなら教えて下さい。</p>
事務局	<p>まずは雇用の場を作る事を主眼に置いた施策に取り組み、その後、労働環境の改善など、労働者保護となる施策を検討していかなければなりません。</p>
委員	<p>市民意識調査結果からみても、支払われる給与については大変難しい問題です。雇用の場は出来たけど、給与が安く生活が上手くいかなければ、また日田を離れてしまいます。</p>
会長	<p>雇用条件というのもすごく重要です。単に雇用の数という事ではなく、雇用の質について、特に、生活、安心な、雇用条件について考える必要があります。</p> <p>市民の意見を聞き取り組みを始め、今回は限られた時間の中で対応して作り上</p>

	<p>げたのがこの総合戦略ではないかと考えます。様々な意見に対して、市の部局で対応され、事務局がまとめて作成されています。このような取り組みが本当に必要だと感じます。</p> <p>総合戦略の主旨に、「本市の総合戦略を積極的に推進することと合わせて東京圏の・・・という実効ある取組みが不可欠です」という文を今回盛り込んでいるところですが、この2行にこの委員会に出ている日田らしいこれだということを今後取り組むということを盛り込むことは皆さんの合意がされていると思います。</p> <p>現状の文章に、付け加えるか、あるいは少し変えるというようなことで検討させていただくということで進めたいと思います。</p>
委員	<p>事務局にお尋ねします。会長から話がありました今回の総合戦略策定期限の問題です。今日も聞いておられますと、これまでと変わらない議論が繰り返されているように感じます。日田市の総合戦略を策定するにあたって、このままだと日田市が消滅してしまうぐらいの危機感を持たないと皆さんが描く総合戦略は本物にならないと思います。</p> <p>策定期限を考えると、そろそろ市長の諮問に答えを出すタイミングではないかと考えます。</p> <p>私は、策定した後が重要だと思います。いかに行動を起こしていくかが一番大事です。計画書だけを見栄えよく作っても中身が伴わないと何もならないです。</p>
事務局	<p>私どもも今回の総合戦略が100%だとは思っておりません。まずは策定を年度内にして、施策に関わる事業に取り組み、また、検証し見直していきたいと思えます。</p> <p>今日、議論していただきました内容について、修正すべきところは修正をいたします。その後12月28日から1月26日までパブリックコメントの手続きを致します。</p> <p>次の審議会を2月3日に開催させていただき、パブリックコメントから出たご意見の集約をしまして、それに対する考え方をまとめ、報告したいと思えます。</p> <p>最後に答申については、2月15日に審議会を開催させていただき、答申を頂くスケジュールを予定しております。</p>
会長	<p>本日の議論で、実質的審議が終わり、パブリックコメントで皆様に再度意見を伺い、その後、最後の修正等の作業を行い、確認作業をして、答申をするというスケジュールとなっています。</p> <p>本日議論しました内容についてですが、今後の日田の市政を何らかの形で文言として表記して、その文言からこの施策があるとの形にはしたいと思えます。</p>
委員	<p>先程会長が言われた日田市としての決意というか、夢がある言葉を考えたことはこれまでなかったのですが、そこは大事だなと思えます。</p> <p>まち・ひと・しごと総合戦略は全国共通なのです。そこに日田市としてのアピールする決意を表す何かが必要だと思えました。</p>

	<p>例えば、24年度の災害の後のまちづくりなどは全国でも発信力がある部分です。これらを上手く活用して考えていきたいと思いました。</p>
会長	<p>どこまで込められるかは言葉に限界があります。やはり、市民と一体になり何事にも取り組む事が必要であるとのことです。</p> <p>今後も私たちは委員としてこの総合戦略には関わるといことですので、よろしくお願ひ致します。</p> <p>それでは今日の審議会はこれで終了したいと思います。</p>